

科目名	精神看護学特殊研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (精神看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 松澤和正					科目ナンバー	T2C215
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	精神看護に関する諸課題を、自らの臨床経験の内にある強い動機づけのなかから特定し、必要ならば方法論等の開発も含めた新たな知見の探究を行い、一連の研究プロセスを経て、オリジナリティのある博士論文を作成することを目的とする。						
授業の到達目標	研究テーマの明確化、文献検討、研究計画書作成、倫理委員会審査、研究フィールド等の開拓、データ収集と分析・考察、中間報告、最終報告等を総合的に実践することにより、オリジナリティのある博士論文を作成できる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【行動目標】 自らの臨床経験の内にある強い動機づけのなかから研究テーマを明確化し、文献検討、研究計画書作成、倫理委員会審査、研究フィールド等の開拓、データ収集と分析・考察、中間報告、最終報告等を総合的に実践することにより、オリジナリティのある博士論文を作成できる。</p> <p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科領域の臨床看護研究一般(特に「研究的臨床実践」に関する研究等) ・精神看護の臨床民族誌的研究 ・看護思想史に関する研究 等。 						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究プロセスにおけるそれぞれの諸課題について十分な事前準備を行うこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	必要時適宜提示する。						
参考書	必要時適宜提示する。						
成績評価の方法および基準	計画書発表30%、中間発表20%、課題20%、口頭試問30%で評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行うので有効に活用すること。 この科目は、本専攻の学位授与方針3と関連していることに留意し授業に取り組むこと。						